

2017 年度事業報告

<2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日>

事業の実施内容

【公 1】奨学・助成事業

【公 1 (1)】奨学金の貸与

	大学院			大 学			合 計		
	新規	継続	計	新規	継続	計	新規	継続	計
2016 年度	10	8	18	3	4	7	13	12	25
2017 年度	9	10	19	2	7	9	11	17	28
2018 年度	8	9	17	1	7	8	9	16	25

(a) 内容

- ①広島県出身の大学院生、大学生に対し最短修業年限まで学資金月額 5～8 万円を貸与。
- ②2015 年度採用より最短修業年限で修了した者は半額を返還免除。
- ③大学院進学者 10 名、大学進学者 3 名程度を採用。

(b) 2017 年度の状況

- ①2018 年度採用の大学院進学者は秋募集で 7 名、春募集で 1 名の採用を予定。
- ②2018 年度採用の大学進学者は 2 名を仮採用。1 名は希望大学に進学できず不採用。
- ③2017 年度採用の新規奨学生を対象に 9 月 1 日に奨学生懇談会を開催し 14 名が出席。

【公 1 (2)】東日本大震災被災学生（特別奨学生）への奨学金の給付

	新規採用数	継続	合計	累計
2016 年度	3	12	15	32
2017 年度	6	7	13	38
2018 年度	0	11	11	38

(a) 内容

- ①被災大学生に対し最短修業年限まで学資金月額 10 万円（年間 120 万円）を給付。
- ②2011 年度から事業を開始。制度の運用期間は 10 年間。延べ 40 名に給付を計画。
- ③2020 年度が最短修業年限となるため、2017 年度で募集終了。延べ 38 名に支給。

(b) 2017 年度の状況

- ①2017 年度採用者を 4 月に募集、6 月に 6 名の採用を決定。本事業の募集終了。
- ②38 名の内訳は東北大 13 名、東京大 7 名、早稲田大 7 名、慶応大 5 名、他大学 6 名。

【公 1 (3)】アジアからの留学生への奨学金の給付

	新規採用数	出身地	
		中国（大連）	タイ
2016 年度	2	1	1
2017 年度	2	1	1
2018 年度	1	1	0

(a) 内容

- ①広島大学大学院へ留学する中国、タイなどからの私費留学生に学資金を 1 年間給付。
- ②1 人当たり月額 10 万円、年間 120 万円を給付。

(b) 2017 年度の状況

- ①2017 年度採用として 4 月に大連の留学生 1 名を決定。
- ②2018 年度採用としてタイの留学生の応募なし。4 月に大連の留学生 1 名を決定。

【公 1 (4)】 アジアの学生への奨学金の給付

a. 大連大学

	新規採用数
2016 年度	5
2017 年度	5

(a) 内容

- ①2016 年 10 月から 3 年間の奨学金給付に関する協定書を大連大学と締結。
- ②1 人当たり年間 5000 元 (半年に 2500 元ずつ) を毎年 5 名に給付。

(b) 2017 年度の状況

- ①2017 年度の奨学生を 10 月に募集し、12 月に 5 名の採用を決定。
- ②窓口を利優比 (大連) 機器有限公司 → 利優比圧鋳 (大連) 有限公司に変更。

b. 常州大学

	新規採用数	大学	
		常州	河海
2016 年度	6	3	3
2017 年度	3	3	—

(a) 内容

- ①2017 年 10 月から 3 年間の奨学金給付に関する協定書を常州大学と締結。
- ②1 人当たり年間 5000 元 (半年に 2500 元ずつ) を毎年 3 名に給付。

(b) 2017 年度の状況

- ①2017 年度の奨学生を 10 月に募集し、12 月に 3 名の採用を決定。

【公 1 (5)】 日本からの留学生への奨学金の給付

	新規採用数	大学院生、大学生	
		広島県出身者	府中高校卒業生
2016 年度	0	0 (辞退)	0
2017 年度	3	1	2

(a) 内容

- ①海外留学を希望する広島県出身の理工系、農学系の大学生等に対し学資金を給付。
- ②1 人当たり月額 10 万円を留学期間 (6 ヶ月から 1 年まで) に応じて給付。
- ③広島大、早稲田大、岡山大、京都大、大阪大の 5 校対象。秋春の 2 回募集。
- ④府中高校卒業の大学院生、大学生については、大学、学部を問わず募集。

(b) 2017 年度の状況

- ①岡山大学生が奨学生としてカナダに留学。
- ②府中高校卒業生 2 名が奨学生としてベトナム、カナダに留学。

【公1(6)】研究助成

	新規採用数
2016年度	1
2017年度	1

(a) 内容

- ①広島県在住または出身の個人またはグループに調査研究費用の一部を給付。
- ②科学・技術・芸術・文化等の振興に寄与する研究を行う者。給付額は100万円まで。

(b) 2017年度の状況

- ①福山市出身の東北大学大学院工学研究科の助教からの申請を採用。100万円を給付。
- ②研究課題は「鉄基磁性ナノ粒子集合体における高周波磁気損失機構の解明」。

【公2】育成事業

【公2(1)】府中市立図書館への図書寄贈

	府中市立図書館		府中市立小中学校
	寄付額	図書数	寄付額
2016年度	100万円	355冊	—
2017年度	100万円	275冊	—

(a) 内容

- ①児童や青少年の健全な育成および地域社会の健全な発展のため、図書を寄贈。
- ②2006年度から事業を開始。毎年、図書購入費100万円を府中市立図書館へ寄付。
- ③2018年度から3年間、図書購入費年間200万円を府中市立小中学校へ寄付。

(b) 2017年度の状況

- ①図書購入費として100万円を府中市立図書館へ寄付。2017年度が12回目。
- ②2017年度は11月2日に275冊の図書を寄贈。累計で3,983冊。

【公2(2)】ものづくり塾の開催

	児童数	開催回数
2016年度	93名	3回
2017年度	117名	3回

(a) 内容

- ①小学校での社会科の授業に合わせ、「ものづくり」の大切さを伝えるために開催。
- ②府中市立府中学園5年生を対象に、講話や工場見学を実施。
- ③2005年度から事業を開始。クラス毎に約半日かけるため、毎年2日間の開催。

(b) 2017年度の状況

- ①府中市立府中学園5年生を対象に広島東工場にて開催。2017年度が13回目。
- ②2017年度は11月16日、17日に実施。117名が参加。

以上